

三浦オートクレーブ取扱いに関する注意事項

年に1回法定点検が必要な機器です。**異常があった場合は、必ずセンター教職員にご連絡ください。**異常の有無を自分で判断できない場合であっても、通常と異なることがあったら必ずセンター教職員にご連絡ください。

◎ オートクレーブの両扉は担当者の責任において確実に閉めてください。閉め方が不十分ですと蒸気が漏れ、火災報知機が鳴ることがあります。火災報知機が鳴ると、**消防署への届け出が必要**となります。ご注意ください。

◎ オートクレーブ管体内は適切に清掃を行い、缶体内にゴミを残さないでください。

* ゴミが缶体底部にあるストレーナーに侵入すると、故障の原因になります。

* ゴミがシリコンパッキングに付着すると、蒸気漏れの原因になります。

蒸気オートクレーブ操作マニュアル

1. 運転スイッチを ON にする。画面が立ち上がり、「待機状態」と表示される。
2. 元蒸気コックを開ける。（開けると蒸気が流入する音がする）



【閉じた状態】



【開いた状態】

3. 画面上に、一般側・クリーン側ともに「ドア閉状態開できます」と表示されることとならびに、内缶圧力計の指示値が 0～0.01MPa の範囲にあることを確認後、扉のハンドルを「ドア開」方向に回転させて扉を開ける。
4. 滅菌物を搬入する。
5. ハンドルを「ドア閉」方向に回転させて扉をしっかりと閉める。（ピピピピと音がしてからさらに2回転ほど回す）
6. 「一般滅菌1」（ケージ、フタ滅菌用）が選択されていること、外缶圧力計が 0.05MPa になっていることを確認し、スタートボタンを押す。
7. 使用簿に必要事項を記入する。
8. 滅菌が終了すると、画面に「完了」と表示されるので、**元蒸気コックを閉じ、ストップボタンを押したのち、運転スイッチを OFF にする。**（元蒸気コックが開いたままスイッチが ON の状態だと、缶内の滅菌物は高温から下がらず、搬出時に火傷等の危険性があるため、滅菌終了後には必ず元蒸気コックを閉じ、滅菌物の温度を下げってから搬出することが望ましい。）
9. 搬出前に運転スイッチを ON にして、一般側・クリーン側ともに「ドア閉状態開できます」と表示されていることを確認後、扉を開けて滅菌物を搬出する。
10. ハンドルを「ドア閉」方向に回転させて扉をしっかりと閉める。（ピピピピと音がしてからさらに2回転ほど回す）